



すすんでちょうせんし  
みんなといっしょに  
がんばる

平成30年7月25日 旭川大学附属幼稚園 園長 渡辺 盛二

## 子育てのヒント = 宇宙飛行士編 =

「子どもは誰でも生まれながらにして、その子だけの芽を持っている。その芽を摘み取らないように、いいことをしたら本気で褒め、悪いことをしたら本気でしかり、耐えることも教える。そうすれば安心して枝葉を伸ばし、いつかきれいな花を咲かせます」

(宇宙飛行士の若田光一さんの母親若田タカヨさんの講演会での一言)

星好きの私は、ときどきこの年になっても大空を眺めながら、「鳥のように空高く飛んでみたいなあ。」「宇宙ロケットの中から地球を眺めてみたいなあ。」と、少年の頃のような気持ちになります。この狭い日本の中にも、そのような夢のような仕事を成し遂げた人が何人もいます。宇宙飛行士になるには、学力・専門性・人間性・健康面等、ハイレベルの受験資格をクリアしてから、その後400～500倍以上の数々の難関を突破し、たくさんの訓練を受けて初めて宇宙飛行士になれるそうです。

その中でも、1996年、2000年、2009年、2013年と4度宇宙に行き、滞在期間記録347日8時間32分の記録を持ち、最後の宇宙ステーションのミッションでは、司令官を務める等、輝かしい経歴をお持ちの若田光一氏、現宇宙航空研究開発機構(JAXA)理事について調べてみました。そして、そのような最難関のハードルを越え、偉業を成し遂げた若田光一氏は、どのような幼少期を過ごし、どのような子育てを受けてきたのかを調べると、ご両親の興味ある子育てを知ることができました。

### ①感動体験を大切にして「芽」を摘まない

埼玉県大宮市出身の若田光一さんは、母親のタカヨさんと父親の実家の鹿児島に帰省するとき、飛行機に乗るのを光一少年はとても楽しみにしていました。幼稚園の頃、着陸したのに光一君は窓の外を見ていて、なかなか降りようとしません。「早く来ないと最後になってしまうよ」と言っても、「うん、今行くよ」と、視線は窓の外のまま、着陸した飛行機が5、6機並んでいました。その操縦席や翼を熱心に観察していたのだそうです。



「光一は飛行機に興味があるんだと気づきました。そういうときこそ子どもが何に興味をもっているか親が発見するチャンスです。『言

うことを聞かないで悪い子ね』としからないで、視線の先を一緒に見てほしい。両親と一緒に感動すれば芽生えた芽が大きく成長し、後で実を結ぶときが来ると考えました。

## ② 選択肢を与えることを大切

3歳の頃の光一少年は飛行機以外にもたくさんの方に興味を抱いた。飛行機に乗れば「パイロットになりたい」、お店に行けば「お店やさんになりたい」など、いろいろなことに興味を示していました。



タカヨさんは何を言われても即座に「いいよ。お役に立つ仕事だからね。頑張ってるね。」と励ましました。子どもが何かを提案してきたとき、頭ごなしに否定すれば、やる気をそぐばかりでなく、「どうせダメと言われるに決まっている」と、その後のほかの芽も摘んでしまうことになると思ったそうです。

「何をやるかは大きくなったら自分で選べばいい」と、タカヨさんはあくまで自主性を尊重しました。光一少年は、多くの選択肢から中学時代には航空機の技術者を目指すようになり、九州大学で航空工学を学びJALに入社しました。芽が大きく花開いたそうです。

## ③ 簡単に答えを教えない、考えさせることが大切

お父さんは普段の育児はタカヨさんに任せるものの、「ここは大切」というときは、厳しくしつけたといいます。例えば、小学校低学年の頃、ザリガニ釣りに熱中した。「明るいうちに帰りなさい」と言われてもいつも帰ってくるのは日没後。ある日とうとう怒った父親が心を鬼にして「早く帰るから許して下さい」と泣いて謝っても許さないで、小部屋に光一少年を入れて「よく考えなさい」と考える場所と時間を与えたそうです。



しばらくして、父親と子どもが、膝と膝をつき合わせ「なぜしかられたか」「どこが悪かったか」をやさしく聞いていたようです。タカヨさんはかわいそうでハラハラしながらも、父親がしつけをしているときに口出しをしてはならないと辛抱したそうです。

小部屋の中で必死に考えた光一少年は、あることを思いついたそうです。「大人が早く帰れるのは腕時計をしているから。だったら自分も時計を持っていけばいい」と大事にしている目覚まし時計を風呂敷に包んで持っていったそうです。その後、光一少年は明るいうちに帰ってくるようになりました。こうして、やりたいと思うことは一生懸命考えて知恵を絞り、あきらめずに何とかやりとげるようになったそうです。



若田飛行士が何よりお母さんから譲り受けたと感じるのは、その「朗らかさ」だそうです。タカヨさんの座右の銘は、山本有三の「心に太陽を持って」、いつも夢や希望を持って明るく生きて暮らしていたそうです。

最近、「児童虐待」の痛ましい事件や、未来ある青年の無差別殺人事件が報

道されています。事件の種類や内容は違いますが、命を奪われた幼い子も命を奪った青年も、尊い命を授かってこの世に誕生したのです。しかし、幼い子は、数々の貴重な芽を摘み取られ奪われて亡くなり、片や青年は、幸せを生む貴重な芽が育むことなく悲惨な大事件を起こしてしまいました。

私は、幼児期の教育がどれほど大切かを痛感しました。子どもの出世を願う子育てではなく、子どもの可能性を最大限に発揮できるように、子育てをすることが大切なのだと思います。そして、子育ての子どもには、好奇心の種をまくこと。その子だけの「芽」が出たらしっかり根をはり、風雨にも揺らぐ育つように見守ること。そして親自身が、日々楽しく、希望を持って生きることが大切だと思います。



## 8月・9月の予定



8 / 20 (月) 2学期始業式  
8 / 21 (火) お弁当・のびっこ始まり  
8 / 23 (木) もも組教室  
8 / 24 (金) 大掃除  
絵本貸し出し始まり  
8 / 27 (月) ふよっぴー  
さくらんぼ B組農業高校交流  
8 / 28 (火) いちご組参観日  
れもん組園外保育  
(東豊公園)  
8 / 29 (水) 8月生まれ誕生会  
8 / 30 (木) れもん組参観日  
8 / 31 (金) さくらんぼ組参観日  
9 / 4 (月) 旭大短大2年生教育実習  
(9 / 25まで)

9 / 4 (火) みんなのあつまり  
9 / 5 (水) マラソン大会  
9 / 7 (金) さくらんぼ組園外保育  
(緑ヶ丘散歩道)  
9 / 10 (月) ふよっぴー  
さくらんぼ A組農業高校交流  
9 / 11 (火) いちご組秋の遠足  
(当麻アスレチック)  
9 / 17 (月) 敬老の日(休園)  
9 / 19 (水) れもん組園外保育  
(南果樹園) ☂の場合 9/21  
9 / 25 (火) 9月生まれ誕生会  
ふよっぴー  
9 / 27 (木) もも組教室  
9 / 28 (金) さくらんぼ組交通安全教室  
(クミアイ自動車学校)



### \* 8月24日(金) 大掃除について \*

年に2回(8月・3月)に保護者の皆様に園の大掃除をお願いしていますが、8月の大掃除には、A組(いちごA組、れもんA組、さくらんぼA組)の保護者の皆様、3月の大掃除には、B組(いちごB組、れもんB組、さくらんぼB組)の保護者の皆様にお手伝いをお願いしたいと思います。大掃除の内容は、園内窓ふき、拭き掃除、畑の草取り等になります。詳しくは、8月21日(火)にA組のみ大掃除のお手紙を発行いたしますのでよろしく願いいたします。

### \* 夏休み中の幼稚園畑について \*

先日の参観日後には暑い中、畑の草取り、園庭の片づけ等のご協力をいただきましてありがとうございました。お陰様でとても綺麗な畑、園庭になりました。たくさんの方にご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。



**\* 新しい教諭が入ります \***

8月より1名新しい教諭が入ります。名前は、深浦佐代子教諭です。夏休みの預かり保育も担当する予定です。どうぞよろしくお願いいたします。

\* 夏休み中グラウンドに除草剤を散布する予定です。散布についての詳しいお手紙は別紙になりますのでご覧ください。

\* 本日の夏祭りは、準備から運営まで三役さんを始め、夏祭り係の皆様、その他全員の保護者の皆様に携わっていただきましてありがとうございました。

♪ 1学期中は、幼稚園の教育にご理解、ご協力をいただきましてありがとうございました。夏休みは、ケガ、事故には気をつけてご家族で楽しいお休みを過ごしてください。2学期もどうぞよろしくお願いいたします。



### 今月の子ども達



**いちご組**



**れもん組**



**さくらんぼ組**







